

令和2年度

事業実績報告

社会福祉法人 信濃川令終会

目 次

第1 施設の概要	1
----------	---

第2 事業所別事業実績報告

(1) 岡 南 の 郷

① 特別養護老人ホーム岡南の郷	5
② ショートステイ岡南	10
③ デイサービスセンター岡南	13
④ グループホームこうなん	17
⑤ 居宅介護支援事業所岡南	20
⑥ ケアハウス岡南	22

(2) せ っ た や の 郷

① デイサービスセンターせったや	26
② グループホームせったや	29

(3) 看護室

31

第3 苦情受付状況	32
-----------	----

第4 研修の状況	34
----------	----

第1 施設の概要

1 経営主体

名 称	社会福祉法人 信濃川令終会
所 在 地	新潟県長岡市渡沢町字早田53番地
理 事 長	小野澤 豊
認可年月日	平成12年7月25日

2 施設の名称等

(1) 岡南の郷

施 設 の 名 称	サービスの種類	定員	開設年月日	指定(更新)年月日	介護保険事業者番号
特別養護老人ホーム岡南の郷	介護老人福祉施設	82名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200897
ショートステイ岡南	短期入所生活介護	11名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200905
デイサービスセンター岡南	通所介護	29名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200889
グループホームこうなん	認知症対応型共同生活介護	18名	平成14年6月1日	令和2年6月1日	1570201077
共用型デイサービスこうなん	共用型認知症対応型通所介護	6名	平成30年8月1日	平成30年8月1日	1570201077
居宅介護支援事業所岡南	居宅介護支援		平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200863
ケアハウス岡南	軽費老人ホーム ケアハウス	15名	平成13年4月9日		

(2) せったやの郷

施 設 の 名 称	サービスの種類	定員	開設年月日	指定(更新)年月日	介護保険事業者番号
デイサービスセンターせったや	通所介護	25名	平成21年4月1日	平成27年4月1日	1570202810
グループホームせったや	認知症対応型共同生活介護	9名	平成21年4月1日	平成27年4月1日	1590200224
共用型デイサービスせったや	共用型認知症対応型通所介護	3名	平成30年8月1日	平成30年8月1日	1590200224

3 施設規模

(1) 敷地面積

① 岡南の郷	12,770.13 m ²
② せったやの郷	1,372.22 m ²

(2) 建物面積

① 特別養護老人ホーム岡南の郷(ケアハウス、デイサービス等含む)		
鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	延べ面積	6,446.24 m ²
② グループホームこうなん(2ユニット)		
1 木造2階建	延べ面積	358.73 m ²
2 木造2階建	延べ面積	372.43 m ²
③ せったやの郷(デイサービス、グループホーム)		
鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	延べ面積	711.26 m ²

4 設備内容

(1) 岡南の郷

施設名		居室	設備
特別養護老人ホーム		個室 46 4人部屋 9	サービスステーション、事務室、相談室、洗濯室、宿直室、調理室、食堂、特別浴室、静養室、医務室、機能訓練室
ショートステイ		個室 7 4人部屋 1	
デイサービスセンター			事務室、食堂、特別浴室、一般浴室、事務室、休養コーナー
グループホーム (2ユニット)	1	個室 9	居間、食堂、台所、浴室
	2	個室 9	居間、食堂、台所、浴室
ケアハウス		個室 15	事務室、食堂、一般浴室、相談室、洗濯室、図書コーナー、レストコーナー

(2) せったやの郷

施設名		居室	設備
デイサービスセンター			事務室、食堂、特別浴室、一般浴室、事務室、休養コーナー
グループホーム		個室 9	居間、食堂、台所、浴室

5 協力病院

新潟厚生連 長岡中央総合病院
医療法人誠心会 吉田病院

6 嘱託医

田中 直行
江部 佑輔

7 職員数

令和3年3月31日 現在

事業所名		事務長 施設長	副事務長 副施設長	管理者	生活相談員		看護職員 保健師			機能訓練指導員			介護職員			介護支援専門員 計画作成担当者	事務員 栄養士			その他		計
		正	正	正	正	臨時	正	臨時	パート	正	臨時	パート	正	臨時	パート	正	正	臨時	パート	臨時	パート	
法人本部		2	(兼1)														5			2	15	24
岡南の郷	特別養護老人ホーム岡南の郷 ショートステイ岡南	1	1 (兼1)	(兼1)	2 (兼1)		5			1		1	35 (兼1)		5	2 (兼1)						53
	デイサービスセンター岡南	1		(兼1)	1 (兼3)				4	2		(兼4)	6 (兼1)	2	3		(兼1)				4	23
	グループホームこうなん	1		2				(兼1)					10 (兼3)	1	2		(兼2)	(兼1)			1	17
	居宅介護支援事業所岡南			1												4 (兼1)						5
	ケアハウス岡南	(兼1)		1 (兼1)				1							1		1					4
せったやの郷	デイサービスセンターせったや	1		(兼1)	1 (兼4)		1	1	3	(兼1)	(兼1)	(兼3)	6 (兼2)	1	5		(兼1)				4 (兼1)	23
	グループホームせったや		1 (兼1)					(兼1)					6		2	(兼1)	(兼1)					9
計		6	2	4	4	0	6	2	7	3	0	1	63	4	18	6	6	0	0	2	24	158

正職員	100
臨時職員	8
パート職員	50
計	158

8. 職員採用退職状況

令和3年3月31日 現在

職 種			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
看護職員	正職員	採用													0
		臨→正登用													0
		退職													0
	臨時	採用													0
		退職													0
	パート	採用	1	1			1								3
機能訓練指導員	正職員	退職	1		1										2
		採用										1			1
		退職													0
	パート	採用													0
		退職													0
		採用													0
生活相談員	正職員	採用										1			1
		臨→正登用													0
		退職									1				1
	臨時	採用													0
		退職													0
		採用	2				1	1							4
介護職員	正職員	臨→正登用	2												2
		退職				1			1		2				4
		採用													0
	臨時	退職		1											1
		採用													0
	パート	退職												3	3
介護支援専門員	正職員	採用													0
		臨→正登用													0
		退職													0
	臨時	採用													0
		退職													0
		採用													0
事務員 栄養士	正職員	採用													0
		臨→正登用													0
		退職					1								1
	臨時	採用						1							1
		退職								1					1
		採用													0
その他	パート 嘱託	退職						1	1						1
		採用													1
計	採用		3	1	0	0	2	3	0	0	0	2	0	0	11
	退職		1	1	1	1	1	0	2	1	3	0	0	3	14
	差引計		2	0	-1	-1	1	3	-2	-1	-3	2	0	-3	-3
	正職員へ登用		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

第2 事業所別事業実績報告

(1) 岡南の郷

① 特別養護老人ホーム岡南の郷

1 利用状況

(1) 月別入退所状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入所	男	0	1	2	0	0	2	1	1	0	0	1	1	9	0.75
	女	1	1	3	2	3	5	2	2	4	0	3	2	28	2.33
退所	男	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	2	1	8	0.66
	女	0	6	1	3	6	1	1	6	1	0	3	0	28	2.33
月末入所者数		82	77	81	80	76	80	82	79	81	81	80	82	961	80.08

(2) 介護度別入所者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R3.3.31	0	0	6	36	40	82	4.41
%	0.0%	0.0%	7.3%	43.9%	48.8%		
R2.3.31	0	0	9	30	42	81	4.40
H31.3.31	0	0	11	30	40	81	4.35

(3) 年齢別入所者

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R3.3.31	0	2	9	6	11	23	31	82	86.8 歳
%	0.0%	2.4%	11.0%	7.3%	13.4%	28.0%	37.8%		
R2.3.31	0	2	9	3	14	19	34	81	86.7 歳
H31.3.31	0	2	8	5	7	20	37	79	87.5 歳

2 重点施策

特養共通

(1) 平均入所率向上と平均空床期間の短縮

平均入所率は目標値 95.0% 以上に対して 96.9% と目標を達成できた。しかし、平均空床期間は目標値 12.0 日に対して 15.0 日と目標を達成できなかった。要因としては、退所者が短期間に集中したことにより、事前調査や入所内定の動きが追い付かなかったためである。入所率向上のため、生活相談員を中心に空床期間の短縮を積極的に推進していく。

(2) 業務の効率化とICT活用の推進

眠りスキャンについては、覚醒・起床検知だけでなく心拍数や呼吸数の変化に着目し、看取り期の状態変化の判断材料として活用できた。特に新型コロナウイルス感染症の影響により家族の長時間の付き添いや宿泊を控えていただいている中で、状態変化を早期に検知し最期の瞬間を「誰かに看取られる」ことに繋がられた。今後もデータを集積して入所者のケアに活用していく。また、眠りスキャンの追加導入も決まっているため、特養全体として眠りスキャンを活用したケアの質の向上と職員の就労環境改善に取り組んでいく。

ICTの活用については、機器を連携することでイメージに限りなく近い形で運用できるとわかった。しかし、既存の機器では連携できないものやタイムラグが生じるものもあるため、必要とする機能に合致した機器の選定や活用ビジョンの更新を行っていく。

実習生や新人・異動職員の指導を通して、指導する上での根拠や判断の基準等が適切であるか見直しの必要が出てきた。業務や判断の根拠を明確にし、標準化・平準化を図る。

(3) 新人育成シートの活用と見直し

育成シートを活用したプリセプター制度を継続して行い、指導に携わった職員から育成シートの活用方法を含め、指導・育成方法について意見を聴き、見直しを行った。指導を受ける職員一人ひとりに合わせて柔軟に対応する必要があるため、これまで以上に面談に重点を置き、不安や心配を持ち越さないよう、成長度を確認しながら指導を進めていく。

(4) 外部研修への参加

新型コロナウイルス感染症の流行により例年行われていた研修が中止・規模縮小での開催となり、当初の想定よりも外部研修への参加ができなかった。しかし、徐々にオンライン研修が代替開催されるようになり、業務の合間に研修へ参加できたり、配信期間内であればいつでも誰でも視聴できたりとオンライン研修ならではのメリットも見えてきた。このメリットを活かしてより多くの職員が様々な研修に参加できるように進めていく。

(5) 「家族が参加できる看取り介護」への取り組み

看取り介護への理解を深めるため、これまでの取り組みを基にした看取り介護パンフレットを作成し、入所者家族への配布や新規入所時の説明に活用した。また、医師からの病状説明前に早い段階で各職種を交えて家族へ状態を説明することで、看取り介護への移行がスムーズに行えた。新型コロナウイルス感染症の影響により面会の自粛等、家族の積極的な参加が難しい状況は続くが、現在の取り組みを継続しながら、できることを検討し働きかけていく。

看取り介護終了後はケアカンファレンスを実施し、ケースごとに振り返りを行った。今後もフィードバックすることで看取り介護の質と幅を向上させていく。

(6) 安全対策

① 事故・ヒヤリハット件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故報告	15	15	14	13	19	19	26	15	11	13	9	13	182
ヒヤリハット	24	27	24	28	21	27	20	34	43	47	44	21	360
計	39	42	38	41	40	46	46	49	54	60	53	34	542

② 事故内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	9	9	7	6	6	8	14	7	4	10	3	11	94
誤嚥・異食(誤飲)	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5
誤薬・内服漏れ	1	0	2	3	2	0	4	0	0	0	0	1	13
経管栄養(抜去含む)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
その他(痣の発見、深爪)	4	6	5	3	8	11	7	8	7	3	5	1	68
計	15	15	14	13	19	19	26	15	11	13	9	13	182

(7) フロア別

① 特養2階

ミーティングや日頃のケア場面において、入所者個々の言動の背景についてを認知症実践リーダー研修修了者が中心となって考えるように働きかけた。具体的な対応を行うことで入所者の行動に変化が見られ、落ち着いて過ごせるようになる等の成果が得られた。今後も職員それぞれが言動の理由や背景を考えながら入所者と関わり、自発的に認知症ケアについて発信していけるようにステップアップを図っていく。

新型コロナウイルス感染症の影響により研修規模が縮小され、認知症介護研修への参加を見送らざるを得なかった。状況に応じて研修への参加を進めていきたい。

眠りスキヤンの睡眠検知機能を活用し、入所者一人ひとりの睡眠状況を把握しながら排泄ケアを行う時間を検討し、覚醒に合わせて行えるよう見直した。また、起床・離床検知機能を活用し、入所者の動きの把握や動き出した際のニーズに応え、夜間帯の転倒・転落による重大事故を防ぐことができた。機能の活用やデータによる可視化で、入所者のケアだけでなく、夜間の巡視回数の削減や事故発生リスクの低減による職員の心身の負担軽減にも繋がった。特養全床導入に向けて、これまでの取り組みをモデルケースとして眠りスキヤンを運用していく。

月	行事名	行事内容
4月	花見	敷地内の中庭で花見を行い、季節のお菓子を提供して春の訪れを感じた。
5月	園外散歩	天気の良い日に外へ散歩に行き、新緑の季節を感じた。
	野菜の苗植え	プランターにミニトマトときゅうりを植えた。
6月	おやつ作り	チョコムース作りを行い、おやつの喫食で楽しんだ。
7月	七夕	七夕の飾り付けや記念撮影、七夕ゼリー作りを行い、季節感を味わった。
8月	夏の抽選会	長岡花火の映像鑑賞会とおみくじ抽選会を行い、楽しんだ。
9月	敬老会	各フロアでの表彰式と祝宴を行い、敬老の日を祝った。

10月	ハロウィンパーティー	ハロウィンにちなんだ仮装撮影、園で収穫したサツマイモのおやつ作りを行い、季節を感じた。
11月	文化祭	ワークショップでの作品作り、秋を連想させる茶菓子の提供等を楽しんだ。
	おやつ作り	パンケーキを焼き、出来立ての香りと味を楽しんだ。
12月	忘年会	祝膳やケーキを喫食し、年末の季節感を味わった。
1月	新年会	獅子舞披露、祝膳や季節の練り菓子の喫食を通して新年を祝った。
2月	節分会	豆まきを行い、恵方巻ロールケーキを喫食し、邪気を払って健康を願った。
3月	ひな祭り	甘酒やケーキ等を喫食して、ひな祭りを祝った。

新型コロナウイルス感染症の影響により大規模な外出行事は見送ったが、個別での外出や屋内でも季節を感じられるような行事を行った。

② 特養3階

間接業務を勤務時間内に行うため、業務の大半を占めていた入浴業務の見直しを行い、ケアプランや行事計画作成等に時間を割り当てることができた。また、各自がケアカンファレンスや行事計画予定を把握し、勤務希望に反映させることで、より効果的・効率的に間接業務を行えるように努めた。

全体ミーティングを3ヶ月に1回、定期ミーティングを週1回勤務時間内に行うことへ変更した。時間外勤務を削減しつつ細かな情報交換と共有を図った。

定期的にアンケートを実施し、職員から発信されたアイデアを業務に取り入れることで、入所者の処遇改善だけでなく職員の負担軽減やモチベーションアップに繋がった。新しいアイデアも出てきているため、今後も積極的に取り組んでいく。

有給休暇の平均取得日数は前年度と比較して1日以上増え、平均で10.7日を取得できた。有給休暇が取得しやすい環境を継続できるよう業務改善を行い、職員のストレス軽減に努めていく。

月	行事名	行事内容
4月	花見	中庭で花見を行い、季節のお菓子を提供して春の訪れを感じた。
5月	お楽しみ会	歌声広場やおやつ会を通して視覚や聴覚への刺激入れと入所者同士の交流を図った。
6月	おやつ作り	プリン作りを行い、おやつの喫食で楽しんだ。
7月	七夕	七夕の飾り付けや記念撮影、おやつに好みの飲み物を提供し、季節感を味わった。
8月	納涼お楽しみ会	神輿の興行、ビンゴゲームを行い、楽しんだ。
9月	敬老会	各フロアでの表彰式と祝宴を行い、敬老の日を祝った。
	ホットケーキ作り	ホットケーキを焼き、出来立ての香りと味を楽しんだ。
10月	みんなで歌って楽しもう会	おやつを喫食した後、歌を歌って楽しんだ。
11月	文化祭	ワークショップでの作品作り、秋を連想させる茶菓子の提供等を楽しんだ。
	おやつ作り	園で収穫したサツマイモを使って芋羊羹を作り、おやつに喫食した。
12月	クリスマス忘年会	クリスマスソングを歌ったり、ケーキを食べたりして季節を感じた。
1月	新年会	絵馬作成、獅子舞披露、祝宴で新年を祝った。
	おやつ作り	家庭用綿あめ作り機で綿あめを作って喫食した。
2月	節分会	豆まきを行い、恵方巻ロールケーキを喫食し、邪気を払って健康を願った。
	おやつ作り	クッキーを作り、焼き立てを喫食した。

3月	ひな祭り	甘酒を作り、ケーキを喫食して、ひな祭りを祝った。
	おやつ作り	焼きドーナツを作り、出来立ての香りと味を楽しんだ。

新型コロナウイルス感染症の影響により大規模な外出行事は見送ったが、個別での外出やテイクアウトを活用した中食を企画する等工夫して対応した。

3 給食の状況

(1) 栄養量(1日当たり)

区分	エネルギー(Kcal)	タンパク質(g)	カルシウム(mg)	脂 質(g)
本施設の 基準提供栄養量	1,300	57	600	30
	1,500	66	600	35
	1,700	70	600	45

※3種類の栄養量の食事を用意し、入所者の身体状況に合わせた食事を提供している

(2) 療養食

項 目	腎臓食	糖尿食	膵臓食	潰瘍食	心臓病食
人 数	0	0	0	0	2

※複数の療養食に該当する場合あり

(3) 行事食状況

年月日	行事名	食事内容
5月5日	端午の節句	ふきご飯、鯖の南蛮漬け、若竹煮、白和え、いちご
7月7日	七夕	七夕そうめん、かき揚げ、レモン醤油和え、フルーツあんみつ
8月23日	納涼祭	焼きそば、スープ、フランクフルト、チョコバナナ
9月21日	敬老会	醤油赤飯、松茸すまし汁、刺身、蓮根はさみ揚げ、ポン酢ジュレのサラダ、さつま芋プリン
12月28日	忘年会	鮭といくらの親子丼、湯葉入りすまし汁、里芋そぼろ煮、酢味噌和え、抹茶フルーツあんみつ
12月31日	年越し	鯛めし、そば入りすまし汁、新巻鮭、天ぷら、もやしと桜エビのさっと煮
1月1日	元旦	ちらし寿司、筑前煮、元旦口取、卵豆腐
1月18日	新年会	握り寿司、蓮根すり流し汁、天ぷら、ふろふき大根、お汁粉風デザート
2月2日	節分	いなり寿司、いわしのつみれ汁、大豆とひじきのサラダ、水ようかん
3月3日	ひなまつり	ちらし寿司、はまぐり潮汁、かき揚げ、菜の花白和え、ひな祭りゼリー

② ショートステイ岡南

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和2年度	407	411	420	429	494	448	449	420	446	403	412	432	5,171	430.9
令和元年度	409	419	429	422	422	424	442	423	456	429	403	419	5,097	424.8
平成30年度	389	405	398	405	420	406	420	403	439	439	399	424	4,947	412.3

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和2年度	13.56	13.26	14.00	13.84	15.94	14.93	14.48	14.00	14.39	13.00	14.71	13.94	14.2
令和元年度	13.63	13.51	14.30	13.61	13.61	14.13	14.25	14.10	14.70	13.83	13.89	13.51	13.9
平成30年度	13.00	13.10	13.30	13.10	13.50	13.50	13.50	13.40	14.20	14.20	14.30	13.70	13.6

③ 平均利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和2年度	8.48	8.74	8.24	8.25	9.69	9.33	8.47	7.92	9.29	10.07	9.36	9.81	9.0
令和元年度	8.01	8.55	7.52	8.27	8.44	7.57	8.33	8.13	8.94	9.12	8.76	8.72	8.4
平成30年度	8.45	8.61	7.37	7.64	8.40	7.80	8.75	7.60	9.34	7.98	8.48	7.85	8.2

④ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	0.91
要介護1	9	8	9	9	7	6	9	9	5	4	5	7	87	7.25
要介護2	9	10	10	11	10	9	10	10	11	7	8	7	112	9.33
要介護3	14	13	15	15	15	15	15	15	15	14	13	13	172	14.33
要介護4	11	11	12	11	13	13	10	10	9	7	10	11	128	10.66
要介護5	4	4	4	5	5	4	8	8	7	7	7	6	69	5.75
計	48	47	51	52	51	48	53	53	48	40	44	44	579	48.25
平均介護度	2.82	2.84	2.84	2.84	2.98	3.00	2.96	2.96	3.04	3.15	3.13	3.04	2.96	

(2) 地域別利用状況

	六日市	十日町	阪之上	宮内	四郎丸	富曽亀	豊田	千手	川崎	栖吉	神田	その他	市外	計
令和2年度	19	20	1	22	1	2	0	4	0	0	1	15	0	85
令和元年度	26	19	2	33	0	2	0	3	2	1	1	24	0	113
平成30年度	27	16	1	24	3	2	2	4	2	5	1	24	0	111

2 重点施策

(1) 平均稼働率向上のための取り組み

平均稼働率は目標値113%に対して128.9%と目標を達成できた。特養の退所や入院による空床を積極的に活用し、空床＝短期入所利用が意識付けられている結果が数字として表れた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式が変わったためか、家族の予定に合わせた不定期でのショートステイ利用の減少により、年間の実利用者数は大幅に減少した。安定した稼働を維持するためには、実利用者数を増やしていく必要がある。

(2) 認知症ケアの推進

認知症ケアに取り組むにあたり、利用者の言動を観察し、その背景に何があるのかを考えながら具体的な対応を行った。利用者個々で認知症の症状や進行の仕方が異なるため、ミーティングや日頃のケア場面でも「気づき」を共有して対応していく。

毎月2回、昼食作りやおやつ作り等の調理レクを実施し、より多くの利用者から参加していただけるよう実施日を調整しながら計画した。栄養士や機能訓練指導員とも連携を図り、摂食や機能維持という視点からもレクリエーションを通してアプローチできた。調理レクは好評であるため、今後も継続的に実施していく。

(3) 業務改善とICT活用の推進

ショートステイ独自の業務を可視化し、内容を見直すことで標準化できた。しかし、空床利用時の情報伝達内容や伝達方法にムラがあり、不足が生じるという課題も残っているため、業務の見直しは継続して取り組んでいく。

長岡市のワーキングチームと連携し、データ提供等を行ってきたが、本格的なモデル事業への参画には至っていない。引き続き協力体制を維持し、行政や他法人と連携を図りながらショートステイ特有の課題を解決していく。

(4) 定期ミーティングの開催

毎月多職種が参加するミーティングを開催し、利用者個々のケア方法の見直しや業務についての意見交換を行った。また、協議内容をフィードバックし、フロア職員が統一したケアを行えるように努めた。

(5) 特養との業務連携

ショートステイ独自の業務を可視化・標準化することで、業務内容を伝達しやすくなり、ショートステイ担当職員以外にも業務に携われるようになった。送迎業務については介護生活相談室職員が中心となってい、家族とのコミュニケーションや情報交換を通して信頼関係の構築に努めた。しかし、体制が整わず介護職員が送迎業務に携わる機会が限定的であった。体制作りと業務の見直しを行い、介護職員が送迎に出ることで「顔の見える関係作り」に取り組んでいく。

＜事故報告状況＞

発生状況 \ 発生場所	フロア	居室	トイレ	浴室	計
転倒・転落	14	12	7	0	33
誤薬等	4	1	0	0	5
異食	0	0	0	0	0
傷、表皮剥離	0	0	0	3	3
その他	3	1	0	0	4
計	21	14	7	3	45

利用者のADLや認知機能の低下に伴い、転倒・転落事故が最も多く報告された。利用者の状態変化を職員間だけでなく、家族や担当介護支援専門員と共有し、必要に応じて介護機器を活用しながら事故防止・受傷予防に努めていく。

③ デイサービスセンター岡南

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和2年度	731	765	702	710	714	697	752	739	741	715	669	745	8,680	723.33
令和元年度	718	764	729	766	762	700	735	722	728	715	691	761	8,791	732.58
平成30年度	718	748	743	799	763	725	749	745	738	721	618	698	8,765	730.41

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和2年度	24.40	24.70	23.40	22.90	23.00	23.20	24.30	24.60	23.90	23.10	23.90	24.00	23.78
令和元年度	23.90	24.60	24.30	24.70	24.60	23.30	23.70	24.10	23.50	23.10	23.80	24.50	24.00
平成30年度	23.90	24.10	24.80	25.80	24.60	24.20	24.20	24.80	23.80	23.30	22.10	22.50	24.00

③ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	3	4	4	4	2	4	3	3	2	2	2	2	35	2.91
要支援2	3	3	3	3	3	3	4	4	5	4	4	4	43	3.58
要介護1	14	15	14	16	15	15	18	16	16	17	17	18	191	15.91
要介護2	32	32	30	28	26	28	30	30	31	31	29	30	357	29.75
要介護3	17	18	18	18	19	18	18	20	17	18	17	16	214	17.83
要介護4	12	14	11	12	12	14	11	11	11	10	7	8	133	11.08
要介護5	5	4	3	4	4	1	3	3	4	5	4	3	43	3.58
計	86	90	83	85	81	83	87	87	86	87	80	81	1,016	84.66
平均介護度	2.52	2.51	2.46	2.48	2.52	2.44	2.38	2.43	2.44	2.44	2.35	2.30	2.44	

(2) 曜日別利用状況

	月	火	水	木	金	土	日	計	平均
令和2年度	1,231	1,247	1,343	1,262	1,217	1,188	1,192	8,680	1,240.00
令和元年度	1,290	1,312	1,291	1,306	1,230	1,215	1,147	8,791	1,255.85
平成30年度	1,255	1,279	1,320	1,314	1,254	1,251	1,092	8,765	1,252.14

地域別利用状況

	六日市	十日町	宮内	山通	豊田	富曽亀	千手	阪之上	神田	四郎丸	川崎	その他	市外	計
令和2年度	55	22	14	0	3	0	0	2	0	0	0	22	0	118
令和元年度	48	23	11	0	1	0	0	0	0	0	3	34	0	120
平成30年度	48	25	9	0	1	0	0	0	0	0	3	45	0	131

2 重点施策

(1) 実績の維持

居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへ毎月営業活動・情報交換を行い、新規利用者の獲得に努めた結果、平均利用者数 23.8 名、平均実利用者数 84.7 名、月の平均利用者数 723.3 名、年間新規利用者数は 29 名であった。今年度の目標値である平均利用者数 23.0 名は達成できたが、昨年度より 0.2 名減少した。来年度は 25.0 名を目標としているため、更なる営業活動に努めるとともにサービスの質の向上を図り、新規利用者の獲得を目指す。

(2) 個別機能訓練加算と新たな加算の算定

機能訓練を希望される利用者が増えたことにより個別機能訓練加算（Ⅰ）・（Ⅱ）の算定者は、延べ 4,188 名と昨年度よりも 620 名増加した。また、利用者・家族の要望や自立支援、生活機能向上等を目的として、機能訓練を実施した。生活機能が維持・向上した利用者も多く、更なる意欲向上に繋がっている。また、塗り絵や計算問題、キャップボトルゲーム等の脳トレを提供し、デイサービスでの過ごし方の見直しを図った。ADL 維持等加算は、毎月 ADL を評価する指標を用いて ADL 値を測定し準備を進めてきた結果、来年度の加算算定に繋げることができた。

今後も利用者が可能な限り在宅での生活が継続できるよう機能訓練を実施するとともに、安定した事業経営に向け加算の算定を行っていく。

(3) サービスの質の向上

ミーティング等で定期的に接遇研修を行った。職員一人ひとりが自分自身及び他職員の言動の振り返りを行い、改善点を洗い出し、その後の業務に活かすことで、サービスの質の向上に努めた。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により外部研修への参加機会が減ったが、代替としてオンライン研修に参加した。来年度も職員のスキルアップのため、積極的に活用していく。また、施設内での交換研修も実施できなかったため、来年度は実施し、職員の利用者への接遇、介護技術の向上を図る。

(4) 働きやすい職場作り

管理者、副主任が職員との意見交換の機会を設け、業務上の問題点や意見の聞き取り、悩み相談にも応じた。また、お互いを認め合い、信頼関係を築けるよう職員同士のコミュニケーションを大切にすることで、働きやすい職場作りに取り組んだ。

ミーティング等で業務上の課題や問題点を話し合い改善に努めるとともに、役割分担を明確にして業務の効率化に努めた。また、業務内容の見直しを行い、業務内でのケアプラン作成や行事の話し合い等の時間を設け、時間外労働の削減に努めた。しかし、職種により差が大きかったため、今後は職種ごとの業務量を把握、業務課題を精査し、検討・改善していくことで、更なる時間外労働の削減に取り組む。

年次有給休暇は、年度初めに職員から取得予定月を確認し、平均 8.0 日取得できた。

2 事故報告

発生状況 \ 発生場所	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
転倒・転落	6	3	0	2	1	12
誤嚥・窒息・異食	1	0	0	0	0	1
薬関係	2	0	0	0	0	2
傷・表皮剥離・怪我	3	0	0	0	0	3
その他	6	3	0	0	4	13
計	18	6	0	2	5	31

事故発生時に事故ミーティングを行い、各職種からの視点で原因を追究し、的確な対応を行った。また、毎月のミーティングで事故対応策の評価、再検討を行い、再発防止に努めた。

3 ヒヤリハット

発生状況 \ 発生場所	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
移動・起居動作・移乗	55	24	14	9	6	108
杖・歩行器の不使用	27	2	3	1	0	33
バイタル測定	1	1	0	0	0	2
食事・水分・服薬	20	0	0	0	0	20
送迎	0	0	0	0	15	15
その他	37	20	4	4	13	78
計	140	47	21	14	34	256

安全対策委員会を中心に職員全員がヒヤリハットの重要性を認識してきたことで、多くのヒヤリハット報告が提出された。

4 行事

月	日	行事名	内容
4月	10・13	お花見	敷地内にある桜を鑑賞した。
5月	26・29	どらやき作り	どらやき作りを行った。
6月	15・19	クレープ作り	クレープ作りを行った。
7月	18・19	かき氷作り	かき氷作りを行った。
8月	8・10	スイカ割り	スイカ割りをして楽しんだ。
	23	新涼会	模擬店では、かき氷、たこ焼き、チョコバナナ等を提供し、縁日では輪投げ、千本引き等で楽しんだ。
9月	16・17	パンケーキ作り	パンケーキ作りを行った。
	21～27	敬老会	喜寿、米寿等の利用者を発表し、昼食に祝い膳を提供した。
10月	13・14	お好み焼き作り	利用者希望にてお好み焼き作りを行った。
11月	1～5	文化祭	作品鑑賞を行い、3日」はボトルフラワーを制作した。
	12・13	デザートバイキング	デザートバイキングを行った。
12月	20～26	忘年会	ちゃんこ鍋、すき焼き、寿司を提供し、職員余興で楽しんだ。
1月	18～24	新年会	新年の祝い膳を提供し、かるたや双六等を楽しんだ。
2月	2・3	節分会	鬼に扮した職員に豆まきをして楽しんだ。
3月	16・17	パンケーキ作り	パンケーキ作りを行った。

新型コロナウイルス感染拡大により、外出行事については中止した。代わりに調理レク等を行った。

④ グループホームこうなん

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.08
	女	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0.25
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4	0.33
月末入居者数		18	18	17	18	18	18	17	18	18	18	18	18	214	17.83
短期利用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
通所利用		1	1	1	2	2	2	2	3	3	1	1	1	20	1.66

※ 通所利用サービス(共用型デイサービス) 利用回数合計 57回

(2) 介護度別入居者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R3.3.31	6	5	4	2	1	18	2.27
%	33.3%	27.8%	22.2%	11.1%	5.6%		
R2.3.31	6	4	4	4	0	18	2.33
H31.3.31	6	6	6	0	0	18	2.00

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R3.3.31	0	0	0	2	4	6	6	18	86.9 歳
%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%		
R2.3.31	0	0	0	2	4	5	7	18	87.5 歳
H31.3.31	0	0	0	3	4	4	7	18	86.4 歳

2 重点施策

(1) 安定した事業経営への取り組み

空室期間の短縮を図るため、グループホームせったやと情報を共有し、待機者の現況把握と確認を行い、入居率99.2%を確保できた。また、通所利用は57回の利用があった。

(2) 利用者へのサービスの充実

利用者個々の思いや願いをアセスメントシートを活用してくみ取り、作成したケアプランを通して、楽しみのある生活や達成感を味わえるような支援を提供できた。また、余暇活動や行事を通じて利用者同士の交流が図れるよう支援し、生活に張りを持

てる環境を提供した。

(3) 役割の創出と地域貢献

新型コロナウイルス感染予防のため外部との交流は限定的であったが、施設での畑作業を通じて生活に活力をもたらす機会を持つことができた。また、運営推進会議についても施設開催から書面交付へと変更し、地域住民代表等から意見や要望を伺った。

(4) 利用者家族との連携

家族参加行事は新型コロナウイルス感染予防のため延期とした。家族と利用者の関係が維持できるよう9月よりオンライン面会を導入し、交流を図る機会を提供できた。また、家族の思いや意向を直接確認することでケアプランの作成に役立てた。

(5) 職員の資質向上

新型コロナウイルス感染対策の観点から、外部研修には参加できなかったがオンライン研修に参加をした。また、動画視聴型コンテンツにより研修動画を視聴し、資質の向上を図ることができた。

(6) 働きやすい職場作り

ミーティング等で職員の意見交換の場を設け、業務改善や職員の負担軽減、環境整備等を行い、働きやすい職場体制作りに努めた。また、業務の見直しや効率化を図ることで円滑に年次有給休暇を取得できた。

(7) 非常災害時における対応と利用者の安全確保

火災や土砂災害、水害を想定した実働訓練を実施し、避難誘導の手順や利用者の避難方法を確認した。地域の自主防災会との合同訓練は新型コロナウイルス感染対策のため延期した。

3 事故報告・ヒヤリハット

(1) 発生件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故報告	5	3	6	4	4	2	0	1	3	3	5	1	37
ヒヤリハット	1	3	3	1	0	2	7	6	3	6	3	5	40
計	6	6	9	5	4	4	7	7	6	9	8	6	77

ヒヤリ・ハットは、皮膚トラブルや内服薬、転倒リスクに関する事例が多く報告された。今後も職員ミーティング等で事例を共有し、事故の発生を未然に防ぐ取り組みに役立てる。

(2) 内容別事故報告件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・転落・尻もち	5	2	5	3	2	2	0	1	3	2	4	0	29
受傷(切り傷・裂傷・ 剥離・皮下出血)	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	5
服薬	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
行方不明(無断外出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	5	3	6	4	4	2	0	1	3	3	5	1	37

服薬については昨年度より減少したが転倒・転落・尻もち事故の報告件数は昨年度より11件増加した。転倒事故は重大事故に繋がる恐れがあるため、ヒヤリ・ハットの分析も含め再発防止に努めていく。

⑤ 居宅介護支援事業所岡南

1 居宅サービス計画数(国保連請求分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和2年度	145	147	145	141	141	146	150	149	144	143	141	137	1,729	144.1
(新規契約件数)	6	3	3	1	3	4	9	4	2	3	4	2	44	3.7
令和元年度	137	145	142	143	148	139	140	141	135	137	141	138	1,686	140.5
平成30年度	140	139	144	139	137	136	130	143	135	129	135	130	1,637	136.4

2 介護予防支援・くらし元気委託料請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和2年度	33	33	32	33	33	32	31	34	32	32	32	33	390	32.50
令和元年度	24	25	22	22	22	21	25	27	28	30	29	33	308	25.67
平成30年度	19	18	18	18	18	19	18	19	21	20	20	22	230	19.17

3 長岡市・小千谷市認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和2年度	2	3	7	3	8	4	5	2	11	10	9	7	71	5.91
令和元年度	9	1	8	6	11	13	9	11	9	12	14	10	113	9.41
平成30年度	9	12	9	8	8	11	9	11	11	9	7	12	116	9.66

4 重点施策

(1) 安定的な事業経営への取り組み

居宅サービス計画数(国保連請求分)が1,729件で前年度実績より43件の増加、介護予防支援は82件増加した。病院や地域包括支援センターへの営業により新規利用者の獲得に努め、昨年度に続き一部地域にチラシをポスティングすることで気軽に相談できるきっかけ作りを行った。

今後も質の高いケアマネジメントを実施するために特定事業所加算Ⅱを堅持し、関係機関と良好な関係を維持しながら積極的に新規受け入れを行っていく。

(2) 提供する居宅介護支援サービスの質の向上と人材育成への取り組み

利用者や家族の要望に応え、質の高いケアマネジメントを行えるように外部研修や経験年数に応じた専門研修に参加した。また、視野を広げ様々な事例に対応できるように、他法人が運営する居宅介護支援事業所や関係機関との情報交換、事例検討を行った。今後も各種研修や他法人が運営する居宅介護支援事業所の事例検討会への参加や、主任介護支援専門員研修を受講することで質の向上を目指す。

(3) 地域社会との連携

利用者や家族に対して丁寧かつ迅速な対応に努め、信頼関係を深めることができた。単身世帯や軽度の援助を必要とする高齢者が増加する中で、社会と繋がりを持ち、地

域に根差した暮らしを継続するため、積極的に福祉ニーズの把握や情報収集を行い地域に潜在している社会資源の発掘と活用を行っていく。

(4) **明るく働きやすい職場作り**

事業所ミーティング、ケース検討会を通して個々が抱える担当ケースで困難な事例について意見交換や情報共有を行うことで、職員が一人で問題を抱え込まず担当職員不在の場合でも支障なく対応できた。今後も、自分の意見を言える風通しの良い雰囲気を作るとともに健康管理に気を配り、やりがいを持って業務にあたることができる職場環境を構築していく。

⑥ ケアハウス岡南

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男													0	0.00
	女			1				2		1			1	5	1.25
退居	男			1									1	2	1.00
	女						1	1		1				3	1.00
月末入居者数		15	15	15	15	15	14	15	15	15	15	15	15	179	14.91

退居者5名のうち1名は入院中に亡くなられ、4名はADLの低下に伴いケアハウスの生活が難しくなり、退居となる。新規入居者で4名が要介護認定を受けている。残り1名は自立。

(2) 介護度別入居者

介護度 基準日	自立	要支援		要介護				計
		1	2	1	2	3	4	
R3.3.31	3		1	4	2	5		15
%	20.0%	0.0%	6.7%	26.7%	13.3%	33.3%	0.0%	100%
R2.3.31	2	0	2	2	4	5	0	15
H31.3.31	1	1	2	4	5	2	0	15

要介護2、要介護3の入居者が全体の半数を占めている。

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R3.3.31			3	1	2	5	4	15	84.9 歳
%	0.0%	0.0%	20.0%	6.7%	13.3%	33.3%	26.7%		
R2.3.31	0	0	3	0	2	3	7	15	86.1 歳
H31.3.31	0	0	2	0	3	4	6	15	85.9 歳

平均年齢は1. 2歳下がり、80歳以上の入居者が全体の7割を占めている。

2 重点施策

(1) 入居者の生活の質(QOL)の向上

① 相談・助言

入居者一人ひとりの生活状況、身体状況の把握に努め、生活面や健康面の不安等に対して相談に応じ、助言をした。必要に応じて家族・介護支援専門員とともに対応を

した。また、健康教室を開催し、健康増進・認知症予防への取り組みを行った。

② 環境・生活

入居者の高齢化に伴い身体状態が低下し、介護と医療が必要な方が増加している。可能な限り自立した生活が送れるよう本人や家族、介護支援専門員とともに生活面の配慮、環境整備を行った。

③ 入浴

入浴は毎日提供し、事故防止のため30分毎の巡回を実施した。また、感染症予防と清潔保持のため、塩素濃度の測定や浴室、脱衣室の清掃を徹底した。

④ 保健衛生・緊急・災害時対応

定期的な体重・血圧測定や健康相談を行い、入居者の状態把握に努めた。主治医による年1回の特定健診受診を勧め、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

緊急時は家族等と連絡を取り、主治医・医療機関の指示に従って対応した。連絡方法を明確にしておくことで迅速な対応が行えた。また、災害に備え、入居者が速やかに避難できるように日中・夜間想定避難訓練を行い、防災意識を高めた。

⑤ 介護予防対策

入居者にラジオ体操への参加を勧め、加齢に伴う身体機能低下の予防に努めた。また、健康教室を開催し健康増進のための体操を行った。

興味の持てる行事や余暇・趣味活動への参加を促し、入居者間の親睦を図り、楽しみのある生活が送れるよう努めた。

⑥ 在宅福祉サービスの提供と情報交換

入居者の身体・精神状態に変化があった際は、入居者、家族等の意向を確認した上で、在宅福祉サービスの提供について主治医や担当介護支援専門員と情報交換を行い、入居者が安心して生活が送れるよう努めた。

(2) 入居者の確保

身体機能の低下等によりケアハウスでの生活が困難となった入居者も多く、介護支援専門員や家族等と連携して、次の受け入れ先を探すよう努めた。また、空室期間短縮の取り組みとして、新規入居者確保のため、包括支援センターと居宅介護支援事業所を中心に営業活動を行った。問い合わせには丁寧に説明し、希望者には見学対応を行った。営業活動の継続が入居者確保に繋がるため、今後も力を入れていく。

(3) 職員の資質の向上

入居者の状況把握や対応の統一を図るため、連絡ノートを活用や回覧文書で情報の共有を徹底した。また、職員間で話し合いの場を設け、入居者の少しの変化でも気づけるよう医療・介護等の対応について意見交換、情報伝達を行った。

(4) 働きやすい職場作り

- ① 年次有給休暇の計画的な取得により、職員の生活の充実や気分転換に繋げることができた。
- ② 日々の業務の中で疑問に思ったことを職員間で話し合い、業務内容を見直す機会を作り、働きやすい環境作りに努めた。
- ③ 職員一人ひとりが規則正しい生活を送り、健康管理に留意するよう努めた。

3 事故報告

発生場所 事故内容	浴室	居室	ホール	屋外	その他	合計
転倒	0	0	0	1	0	1
転落	0	1	0	0	0	1
誤嚥	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	1
計	0	2	0	1	0	3

転倒は散歩中の事故。転落はベッドから落ち、起き上がれない事故であった。

前年度との比較	事故の件数	事故者の人数
令和元年度	2 件	2 人

4 年間行事状況

月	日	行事名	行事内容
4	8	お花見	ケアハウス裏中庭で桜を鑑賞し、茶話会を行った。
5	27	柏餅作り	中庭で風景を楽しみながら、気分転換を図り親睦を深めた。
7	6	七夕	短冊に願い事を書き、笹飾りを作った。流しそうめんを行い季節を感じて頂いた。
8	23	夏祭り会	かき氷などで季節を感じながら、職員が奏でる楽器演奏を楽しんだ。
9	21	敬老会	行事食を提供し、職員の余興等で敬老の祝いを行った。
10	28	運動会	新しい入居者の方との交流も兼ね、レクリエーションで親睦を深めた。
11	25	お茶会	クレープ作りを行い入居者や職員同士の親睦を深めた。
12	18	忘年会	行事食・余興等を楽しみながら1年を振り返った。
1	22	新年会	祝い膳を提供。職員手作りの鍋を楽しみながら、新年を祝った。
2	2	節分祭	鬼踊りの披露や豆まきをして、今年一年の無病息災を祈った。
3	3	ひな祭り	豆腐白玉・みたらしあんを作り、茶話会を行った。

新型コロナウイルス感染症予防の一環でバスハイクは休止した。調理レクや健康教室内でレクリエーションを実施し、入居者の気分転換を図る機会を作った。

5 趣味活動・余暇活動

回 数	曜 日 等	内 容	
週 1 回	金曜	移動スーパー	移動スーパー「とくし丸」来訪により安心してゆったりと買い物ができるようになった。
月 2 回	火曜	買い物	原信旭岡店で買い物をした。
	毎月1日	懇親会	入居者全員が参加し、入居者の意見・要望、職員・入居者間の連絡、ケアハウスの生活について話し合いを行った。
	月末	健康教室	認知症予防のための体操や健康に留意した教室を開催した。
	不定期	おやつ作り	季節を感じられるおやつを作り、茶話会を行った。
	月 末	身体測定	体重、血圧測定を行った。

健康教室では入居者に対し健康増進・認知症予防の講座や体操等を行った。歌声広場は新型コロナウイルス感染症予防のため、年間を通じて実施しなかった。

(2) せったやの郷

① デイサービスセンターせったや

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和2年度	568	600	575	562	521	564	640	574	574	554	568	598	6,898	574.83
令和元年度	612	598	582	637	617	590	577	554	541	544	545	568	6,965	580.41
平成30年度	661	670	629	690	681	636	663	611	602	570	566	625	7,604	633.66

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和2年度	18.93	19.35	19.16	18.12	16.80	18.80	20.61	19.13	18.51	18.46	20.28	19.29	18.95
令和元年度	20.40	19.29	19.40	20.54	19.90	19.66	18.61	18.46	17.45	17.54	19.46	18.32	19.08
平成30年度	22.03	21.61	20.96	22.25	21.96	21.20	21.38	20.36	19.41	18.38	20.21	20.16	20.82

③ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	2	3	19	1.58
要支援2	3	2	2	2	1	3	4	5	5	5	6	6	44	3.66
要介護1	14	15	15	13	12	13	14	14	16	17	16	16	175	14.58
要介護2	14	14	15	17	17	16	19	17	14	14	14	14	185	15.41
要介護3	21	21	21	20	20	20	21	19	22	21	21	21	248	20.66
要介護4	10	10	9	9	9	9	10	10	8	7	7	5	103	8.58
要介護5	2	2	2	3	3	3	4	3	3	3	4	3	35	2.91
計	65	65	65	65	63	65	73	70	70	70	70	68	809	67.41
平均介護度	2.54	2.51	2.48	2.54	2.57	2.55	2.57	2.53	2.49	2.43	2.50	2.40	2.51	

(2) 曜日別利用状況

	月	火	水	木	金	土	日	計	平均
令和2年度	1,014	963	1,019	1,001	997	1,022	882	6,898	985.42
令和元年度	1,080	976	1,026	1,077	1,000	873	933	6,965	995.00
平成30年度	1,111	1,089	1,090	1,095	1,077	1,075	1,067	7,604	1,086.28

(3) 地域別利用状況

	六日市	十日町	宮内	山通	豊田	千手	阪之上	神田	四郎丸	川崎	下々条	その他	市外	計
令和2年度	0	15	53	1	8	9	0	1	1	0	0	11	0	99
令和元年度	7	16	49	3	9	7	0	4	4	0	0	1	0	100
平成30年度	12	16	68	1	11	6	0	0	2	0	0	5	0	121

2 重点施策

(1) 新規エリアの開拓と利用者の確保

年間目標数値として平均利用者数22名／日と設定し、月間実利用者数80名、月延べ利用者数670名、年間新規利用者数30名を目安に取り組んだ。実績は平均利用者数19.1名／日、月延べ利用者数574.8名／月、年間新規利用者数26名であり、目標値の達成には至らなかった。

昨年度に比べ9件新規利用の数は増えているが、利用終了者や休止者、当日のキャンセル数の増加に加え、新型コロナウイルス感染症対策のため、場合により利用を控えていただいたことが月・年間での利用者が減少した理由と考える。

居宅介護支援事業所や地域包括支援センターを定期的に訪問し、空き状況や曜日別の利用者の特徴、活動内容等を紹介し営業活動を行った。市内で新型コロナウイルス感染症が発生している状況で、従来通りの営業活動ができないが、可能な範囲で営業を行うとともに、新たな事業所の情報発信案を検討して、安定した新規利用者数の確保に一層努力する。

(2) 余暇活動の充実と社会性、身体機能の維持

余暇活動の「脳トレ」、「創作活動」については利用者の希望や状況に合わせた活動を個別に提供できた。また、活動を通して交流を図り、社会性の維持に繋げることができた。「体操」については、機能訓練指導員が考案した体操・口腔体操プログラムを計画的に行い、利用者も定期的に取り組まれた。体調や状態に合わせた内容を提案することで、身体機能の維持を目的としたサービスを提供した。

(3) 安全対策の徹底

事故報告は12件で前年比2件の減少、ヒヤリハットは67件で前年比8件の減少となった。職員一人ひとりがサービス提供時に常に危険意識を持ち、危険を感じたことについて早急に対策を講じて未然の防止に努めた。事故発生時は原則当日にミーティングを行い、具体的な再発防止策を講じた。また、定例の職員ミーティングの中で再度対応策の見直しを行った。

(4) 健康管理

看護職員を中心として施設到着時のバイタルチェック、入浴時の全身状態の確認を行い、利用者の状態把握に努めた。看護・介護の全職員が情報を共有したことで、状態変化の早期発見に繋がった。また、新型コロナウイルス感染症についても送迎前の検温や手洗い、うがい、換気の徹底、フロアテーブルにアクリル板を設置するなど感染予防を行った。今後も県や市からの情報収集を中心に事業所内の感染防止に努める。

(5) 職員が働きやすい職場作り・人材育成

新型コロナウイルス感染症の影響により、外部研修にはほぼ参加出来なかったため、ミーティング内にて各研修を行い職員個々の知識向上に努めた。また、各職種の業務改善策を検討し、さらなる職員が働きやすい、意見が言いやすい職場作りを目指す。

3 事故報告

発生場所 事故内容	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
転倒・転落	3	1		1		5
誤薬等					1	1
異食	1					1
傷、表皮剥離	1	2				3
その他	1				1	2
計	6	3	0	1	2	12

4 ヒヤリハット

発生場所 発生状況	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
入浴・検温						0
移動	12	7	10	2		31
食事・水分・服薬	17					17
送迎					10	10
その他	4	4	1			9
計	33	11	11	2	10	67

5 行事

月	行事名	行事内容
4月	花壇・畑作り	庭のスペースに畑・花壇を作った。
5月	温泉入浴	温泉の暖簾作りをし、入浴後にアイスクリームを召し上がっていただく。
6月	食事作り	餃子を作り、昼食時に召し上がっていただく。
7月	温泉ツアー	入浴剤を入れたお風呂を提供。入浴後にアイスクリームを召し上がっていただく。
8月	おやつ作り	白玉あんみつを作り、茶話会にて召し上がっていただく。
9月	敬老会	昼食時、祝い膳、茶話会時に祝い菓子にて長寿のお祝いを行った。
10月	さつま芋餅作り	畑で育てた、さつま芋を調理して、お菓子作りを行った。
11月	文化祭	デイサービスセンター内に展示物を展示。文化の日に催し物を行った。
12月	大忘年会	祝い膳(すき焼き・塩ちゃんこ)を提供した。
1月	新年会	祝い膳(にぎり寿司・ちらし寿司)を提供。午後からは福笑い・ゲームを行った。
2月	食事会	カレーを作り、昼食時に召し上がっていただいた。
3月	おやつ作り	フルーチェを作り、茶話会時に召し上がっていただいた。

② グループホームせったや

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3	0.25
退居	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.08
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0.16
月末入居者数		9	9	9	9	9	9	9	9	8	9	9	9	107	8.91
短期利用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
通所利用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.08

※通所利用サービス(共用型デイサービス) 利用回数合計 0回

(2) 介護度別入居者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R3.3.31	3	4	1	1	0	9	2.00
%	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%		
R2.3.31	2	5	2	0	0	9	2.00
H31.3.31	1	2	2	1	2	8	3.12

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R3.3.31	0	0	1	1	1	6	0	9	83.6 歳
%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	66.7%	0.0%		
R2.3.31	0	0	1	3	3	2	0	9	80.7 歳
H31.3.31	0	0	0	2	2	3	1	8	86.6 歳

2 重点施策

(1) 利用者からの要望に対する支援

食事については利用者個別の嗜好に応じた提供を行った。創作や趣味的な活動についても要望をくみ取り、必要な物品を用意した。外出に関してはコロナ禍の影響により、個別の要望があっても外出支援の実施ができない状況だった。

(2) 空室期間短縮の取り組み

待機者の把握や居宅介護支援事業所等と情報交換を行い、入居希望者確保を進めた。しかし、コロナ禍の影響から感染対策等で早期の入居対応が難しい時期もあったため、希望する入居日より予定が遅れることもあった。

(3) 地域との結びつきの強化

コロナ禍による自粛に伴い、毎年開催しているせったやまつりや地域の小中学校訪問などの交流する機会が無くなり、年間を通じて非常に難しい状況であった。

(4) 家族との交流の促進、結びつきの強化

コロナ禍の感染対策として、家族参加の行事は全て中止とした。面会等の要望についても現状を踏まえ、玄関口での対応を行った。面会が困難な分、電話連絡やおたより等を通じて入居者の日常の様子をこまめに報告し、理解を得ることができた。

(5) 外部の視点に基づいたサービス提供の実施

法人で行っている満足度調査の結果及び利用者自身の意向を伺い、利用者の希望に沿ったサービスへの改善やケアプランの支援内容として取り入れることで、利用者や家族の理解を得るようにした。また外部の評価結果を踏まえ、より細やかなサービス提供の実施に努めた。

(6) 働きやすい職場づくり

職員ミーティングや個別のヒアリング等を通じて、職員の負担軽減に関する業務改善や環境整備に取り組んだ。

(7) 防災及び緊急時対応の強化

日中及び夜間の火災を想定した避難訓練の他、水害を想定した避難訓練を実施し、利用者・職員の防災意識を高めることに努めた。来年度は、地域の防災関係者を交えた訓練を計画、実施することで、地域との防災協力の強化に取り組みたい。

3 事故・ヒヤリハット報告

(1) 発生件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故報告	2	3	1	2	1	1	2	0	3	3	0	0	18
ヒヤリハット	1	6	0	2	3	1	2	1	0	0	4	2	22
計	3	9	1	4	4	2	4	1	3	3	4	2	40

(2) 事故報告発生内容

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	1	2	1	2	1	1	2	0	1	2	0	0	13
行方不明(無断外出含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
服薬	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
計	2	3	1	2	1	1	2	0	3	3	0	0	18

ヒヤリハット報告、事故報告共に転倒に関する報告が多く、また特定の利用者による事例となっていた。

事故報告のその他については、腕や足の外傷等による報告事例となっており、事故に至った原因の分析が難しい状況であった。

(3) 看護室

1 重点施策

(1) 看護の資質の向上

看護内容を充実させるため、多職種間での連携を図り、業務改善を行うことができた。

看護職員の法人内外の研修参加については、新型コロナウイルス感染症の影響により、主にオンライン研修に参加した。参加した職員が伝達講習を行い、情報共有と内容の定着を図った。

看護手順書の作成については、看護技術の統一を図るためにその都度検討し、看護手順書に反映させた。

(2) 利用者の健康管理

年1回の健康診断の実施及び、医師や多職種との連携により、異常の早期発見に努めた。

また、看取りに関しても多職種と連携し、家族の意向もふまえながら、その人らしく最期を迎えられるよう支援することができた。今後も看取りに関しては連携をさらに強化し、検討を重ねていく必要がある。

長岡在宅施設医療連携システム（フェニックスネットワーク）では、情報を整理し管理ができてきている。今後も継続して活用をし、さらなる医療連携に繋げていく。

第3 苦情受付状況

1 事業所別苦情受付件数

事業所名		件数
本部		0
岡南の郷	特別養護老人ホーム岡南の郷	1
	ショートステイ岡南	0
	デイサービスセンター岡南	0
	グループホームこうなん	0
	居宅介護支援事業所岡南	0
	ケアハウス岡南	1
	小計	2
せったやの郷	デイサービスセンターせったや	0
	グループホームせったや	0
	小計	0
合計		2

2 苦情申出人の要望（複数回答有）

要望	件数
改めてほしい	2
回答がほしい	0
話を聞いてほしい	0
調査してほしい	0
その他（注意してほしい）	0
計	2

3 苦情申出人より第三者委員への報告

報告	件数
必要あり	0
必要なし	2
計	2

4 苦情内容と発生原因

苦情内容	発生原因
ご家族への対応について	職員の認識不足
職員の態度について	職員の配慮不足

5 今後に向けて

苦情の発生原因は、職員の認識不足、配慮不足等が挙げられる。苦情の申出があったときは、事実関係を確認した上で説明・謝罪等を行い、利用者、家族、関係者に迅速且つ適切に対応した。同様の事を繰り返さない為に、当該部署に限らず、法人内においても注意喚起を行った。

苦情再発防止の為、管理監督者が職員への指導・教育を再度徹底するとともに、研修等に積極的に参加し、接遇マナーや技術等を習得し、職員の資質向上に努める。また、各事業所で実施しているミーティング等で職員間の情報共有を徹底し、苦情ゼロを目指す。

第4 研修の状況

1 階層別研修

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
10月9日	11月24日	平成2年度長岡市地域密着型サービス管理者研修会	長岡市介護保険課	-	2	GHこうなん、GHせったや
10月21日	11月4日	令和2年度企画研修 第1回研修会	一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	4	特養、デイ岡南、GHこうなん
11月25日		職場研修担当者研修	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養
12月17日		新人・後輩職員の育成・指導研修 ～エルダー制度の活用～	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	Web研修	3	特養、GHこうなん
12月22日		接遇研修【リーダーコース】	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	Web研修	4	特養、GHこうなん
12月23日		社会福祉職員スタートアップ研修	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	Web研修	3	特養、ケアハウス、デイ岡南
2月1日		令和2年度第1回管理者研修会 「令和3年度報酬改定の動向について」	一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	8	法人本部、特養、ケアハウス、デイ岡南、GHこうなん、居宅、デイ
小計		7			25	

2 職種別専門研修

(1) 看護職員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
11月27日		令和2年度医療的ケア・指導看護師研修	ケアサポート長岡教育センター	ケアサポート長岡教育センター	1	特養
3月23日		COVID-19 クラスター発生施設から学ぶ ～今 私たちができる感染対策～	ユニ・チャーム株式会社	Web研修	1	特養
小計		2			2	

(2) 生活相談員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
11月18日		令和2年度企画研修 第2回研修会	一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	4	特養、デイ岡南、GHこ うなん
12月2日		令和2年度企画研修 第3回研修会	一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	4	特養
小計		2			8	

(3) 機能訓練指導員・介護職員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
11月13日		令和2年度中越圏域精神障害者自立支援連絡調整会議 地域移行支援部会支援者研修会	新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部	長岡リリックホール	1	デイせったや
12月7日	2月12日	令和2年度第1回認知症介護実践研修(実践者研修)	公益社団法人日本認知症グループホーム協会	燕三条地場産業振興センター	1	デイ岡南
3月16日		令和2年度 新人介護職員向け モチベーション向上・定着オンライン研修	公益社団法人全国老人福祉施設協議会	Web研修	1	特養
小計		3			3	

(4) 介護支援専門員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
7月20日		令和2年度福祉スキルアップ研修 「高齢者に多い疾患と薬の効能・副作用」	エイシン福祉教育センター	新潟医療福祉カレッジ	1	居宅
7月22日		「にいがた連携公開講座2020」 認知症を生きる～患者さんご家族を支えるために～	長岡市長寿はつらつ課	長岡市立中央図書館	5	GHこうなん、居宅
8月5日	10月8日	令和2年度新潟県介護支援専門員「更新研修・専門研修」(専門研修課程Ⅰ)	一般社団法人新潟県介護支援専門員協会	ハイズ長岡 新潟ユニゾンプラザ	1	居宅
8月31日		令和2年度全体研修会 「8050問題を考える～ひきこもり支援に向けて～」	一般社団法人新潟県介護支援専門員協会	新潟ユニゾンプラザ	1	居宅
9月29日		令和2年度自殺ハイリスク者支援検討会	新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部	長岡地域振興局	3	居宅
10月2日		ゲートキーパー研修会	長岡市福祉保健部健康課	長岡市立中央図書館	4	居宅
11月18日		令和2年度新潟県介護支援専門員「更新研修」「専門研修」(専門研修課程Ⅱ)	一般社団法人新潟県介護支援専門員協会	朱鷺メッセ	1	居宅
12月1日	12月22日	令和2年度新潟県介護支援専門員「更新研修」「専門研修」(専門研修課程Ⅱ)	一般社団法人新潟県介護支援専門員協会	朱鷺メッセ	1	特養
1月7日	3月18日	令和2年度新潟県主任介護支援専門員更新研修	一般社団法人新潟県介護支援専門員協会	ハイズ長岡	1	居宅
1月23日		令和2年度 第1回研修会 「難病患者の災害支援の取組を通し現状の災害支援へつなぐ」	長岡地域介護支援専門員協議会	長岡市さいわいプラザ	1	居宅
小計		10			19	

(5) 事務員 ・ 栄養士

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
3月18日	3月31日	第1回厚生労働省の担当官が介護報酬改定(栄養関連)をわかりやすく解説!管理栄養士・栄養士の現場はこう変わる(介護保険施設編)	公益社団法人日本栄養士会	Web研修	2	法人本部、ケアハウス
小計		1			2	
職種別専門研修 合計		18			34	
総合計		25			59	